

2017年度総会

地域創生につながる4テーマを強力に推進
—新産業創出、観光、動物愛護、
ほたるサミット開催支援



サンフロント21懇話会は5月22日、沼津リバーサイドホテルで2017年度総会を開催しました。会員の企業経営者、県・市町長ら行政関係者、県議らが出席し、本年度の活動方針案を承認。記念講演ではJリーグチェアマンの村井満氏が「地域にプロスポーツクラブがあること～豊かなスポーツ文化の振興を目指して」と題し、ビジネスの視点やIoTを活用したJリーグ改革の進捗状況や、各クラブチームの地域貢献事例を紹介しました。

主催者代表あいさつ



静岡新聞社・静岡放送社長
大石 剛

当懇話会の活動は今年で23年目を迎えております。地域活性化策の提言団体としての歴史を重ねつつ、ここまでいくつかの提言を実現させることが出来ました。これはひとえに会員の皆さま方のご努力のおかげでございます。

今年の総会は記念講演の講師にビジネスの世界からJリーグの世界に入られ、チェアマンになられた村井満様をお招きしました。ご承知のとおりアスルクラロ沼津はサッカーJ3に参入し、快進撃を続けております。地元のビッグクラブを軸とした広域的な地域活性化への貢献等が期待されます。

また2020年には東京五輪の自転車競技が伊豆市で開催されることが決まっております。当懇話会活動は今後も地域の人々が主役になり、地域に密着した地域のための活性化策の提言に向けた研究活動・提言活動に取り組みたいと考えております。会員の皆さま方より一層のお力添えをお願いし、ご挨拶に代えさせていただきます。

懇話会代表幹事あいさつ

我々サンプロント21懇話会は静岡県東部の各地域やそれぞれの地域の特徴を生かして活性化の提言や支援に官民一体となって取り組み、本年で23年目を迎えることができました。この活動は国が掲げる地方創生に先んじており、こうした活動を今日まで続けられたのは、ひとえに会員の皆さまのご協力の賜物と深く感謝しております。

当懇話会が計画しておりました人と動物が共生できる社会づくりでは、「人と動物のハッピーライフ」が特定非営利活動法人の設立認証を受けました。また人と動物の先端医療センターが長泉町に開院するなど、東部地域は人と動物と共に生き幸せに暮らせるまちづくりを目指して着実に歩みを進めてまいります。

さて今年度の懇話会の活動は、のちほどご審議いただきますが、スポーツの産業推進、セルロースナノファイバー実用化へ認知度向上の支援、伊豆の魅力を究める日本遺産申請の支援、世界遺産観光の新しい展開の提案など新たな観光交流政策を進めてまいりたいと思っております。

この夏にはアグリイノベーションリサーチセンターが東海大学跡地に開設される予定です。静岡県が誇る農芸品、栽培技術、AI技術を投入し、生産や機能性の向上拡大を目指し、すでに理化学研究所や慶応義塾大学等との新たな研究もスタートし、世界レベルの農業技術開発が期待されています。

これらのプロジェクトの推進・計画を全体会や分科会を通じて皆さまにご支援いただきながら、推進してまいりたいと考えております。本年度事業への一層のご支援ご協力をお願いし、代表幹事の挨拶とさせていただきます。



スルガ銀行会長

岡野 光 喜

2017年度活動方針

懇話会活動23年目に入る2017年度は、さまざまな提言活動等を踏まえ、中長期的観点から継続していく提言やその支援活動の基本方針を、以下の4点にまとめました。

- 広域連携の推進
- 新たな観光交流戦略の促進と支援
- ファルマバレープロジェクトの推進
- 2020年東京五輪の伊豆市開催の支援

基本方針に沿った具体的な活動のテーマは以下の4点にまとめました。

- ① 地域創生につながる新産業創出の支援
- ② 新たな観光の確立と提案
- ③ 動物愛護と福祉思想の国際レベルの普及活動支援
- ④ 静岡県ほたるサミット2017沼津市大会開催の支援

■地域創生につながる新産業創出の支援

東京五輪パラリンピック開催を契機にするスポーツ産業の推進を支援してまいります。伊豆市での五輪開催を控え、サイクルツーリズムによって新たな観光交流の促進、富士山や伊豆半島の観光産業、地域の既存産業振興まで視野に入れた支援活動を行います。

ファルマバレー、アグリイノベーションプロジェクトの推進では県ファルマバレープロジェクトの新拠点が2016年9月、長泉町の県立がんセンターに隣接して開所しました。また2017年夏に沼津市に農作物などの先端技術研究拠点「アグリイノベーションリサーチセンター」通称AOIパークを開設する予定です。旧東海大学跡地を沼津市に払い下げてもらい、それを県に貸して、県が慶応大学などと提携して健康寿命日本一を目指して研究し、さらに産業化につなげるというものです。これらを当懇話会としても支援していこうというものです。

さらにセルロースナノファイバー（CNF）実用化へ認知度向上を支援してまいります。木材繊維を高度にナノ化したCNFは、未来の素材として研究が進められています。鋼鉄の5倍の強度を持ち、軽くて加工しやすいうえ、原料は杉ヒノキなどごく一般的な針葉樹。資源に乏しい日本にとっては格好の素材です。富士市など県東部には紙

パルプ製紙業の蓄積があり、CNF事業拠点となり得る可能性が高いと考えられます。用途開発や実用化に向けた認知度向上、情報発信を支援していきます。

■新たな観光の確立と提案

まずは川端康成をはじめ多くの文豪を生み出した伊豆の魅力をも日本遺産として登録し、観光誘客や観光振興を目指して静岡県との連携を進めます。

世界遺産観光の新たな展開として伊豆の国市に2016年12月に開館した「韮山反射炉ガイダンスセンター」、県が2017年10月の完成を目指す「富士山世界遺産センター」はいずれも独自の世界遺産の価値を学ぶ新たな観光拠点となるものと期待されています。サイクルツーリズムとの連動も一案です。

また世界ジオパーク認定へ、ユネスコに2016年11月に申請書を再提出した伊豆半島ジオパークについても、世界遺産と同様の観光資源として、その認定と活用に向け支援していきます。

■動物愛護と福祉思想の国際レベルの普及活動支援

2011年度より当懇話会が静岡県知事に提言した動物保護施設アニマルシェルターの設置に始まる動物愛護の啓発支援活動が、特定非営利活動法

人「人と動物のハッピーライフ」が設立認証を受けるところまで成果を上げています。また動物の先端医療を行う「動物先端医療センター」が2017年4月に長泉町に開院するなど、東部地域は「人と動物が共に生き、幸せに暮らせるまちづくり」のトップランナーを目指して着実に歩みを進めています。東京五輪パラリンピック開催を伊豆東部が動物に優しい地域に成長していく契機としてとらえ、五輪支援の一環としても支援していきます。

■静岡県ほたるサミット2017沼津市大会 開催の支援

県東部は南伊豆から富士山系まで2カ月にわたり、どこかでホテルが見られる特別な地域環境にあります。またホテルは人類の生命、生体維持に関し、医療技術に革新をもたらす可能性があるとも言われています。2017年6月18日にプラサヴェルデで開催される沼津市大会を支援します。

記念講演

「地域にプロスポーツクラブがあること ～豊かなスポーツ文化の振興を目指して」

Jリーグチェアマン

村井 満氏



Jリーグ入社式で必ず話す 「10年後のJリーガー」

本日は貴重な機会を頂きありがとうございます。実は4月30日に愛鷹のスタジアムでアスクラロ沼津が鹿児島と戦った試合を観戦させていただきました。私はスタジアムに出かけるときはスタッフを従えず、一人でもぐりこんで観戦し、写真をたくさん撮っています。アスクラロ沼津がJ3に参戦したことでサッカー文化がまた一つ全国に広がったなど実感しました。

今日はサッカーの人づくりにおける事例を紹介したいと思います。Jリーグの入社式というのは2月1日。2月下旬からシーズンが始まり、毎年130人ぐらいの新人Jリーガーが誕生します。

私自身は元Jリーガーでもなく監督やクラブオーナーの経験ありません。埼玉県浦和高校出身でゴールキーパーをやっておりましたが、在籍3年間のうち2年間はライバル校が全国制覇をし、大学進学を機にサッカーをあきらめた人間です。そういう私がJリーグの入社式で何を話すべきか、

いつも考えに考えを練るわけですが、必ず話すのはJリーグに入って10年経った選手がどうなったかということです。

2015年の入社式では、2005年にJリーガーになった120人全員の育成担当や指導担当にアンケート調査を行い、その結果をお話しました。本田圭佑、岡崎慎司、浦和の守護神西川らが2005年組です。今でも世界で活躍する人がいれば引退した人もいます。引退の平均年齢は26歳強です。Jリーグは定員制なので130人入れれば130人引退するのです。

一流選手に突出していた能力は 「傾聴力」と「主張力」

皆さんは「心技体」という言葉をご存知だと思います。一流のスポーツ選手が備わっている資質ですね。とくにサッカーでは正確なトラップやシュートはもちろん、スピードもあり、ピッチ上の闘争心が図抜けて高い。そんな心も技も体も強い選手が一流として生き残れる条件だと思っていましたが、アンケート調査してみると特別な差とい

うのではありませんでした。

考えてみると、本田圭佑選手は最初ガンバのユースにも入れず、岡崎選手も最初は三流の落ちこぼれ扱いでした。では彼らとそれ以外の選手にはどんな差があったのでしょうか。私は以前勤めていた会社の人事畑で、職業適性検査の開発に関わっていたことがあります。人間の能力には50の因子があるといわれ、職業に適した適正能力として探求心、分析力、好奇心等ベスト10を挙げてみたところ、優秀なサッカー選手に突出していたのは「傾聴力」と「主張力」という相矛盾する2つの能力でした。相手の話に真剣に耳を傾け、理解する。本田選手も岡崎選手もその能力が非常に高かったのです。

一流のサッカー選手がなぜこのような矛盾する能力に長けているのかといえば、サッカーが非常に理不尽なスポーツだからです。サッカーは他のボールゲームのように真ん中に線を引いて味方と相手が分かれるスポーツではありません。いつでもどこから相手が攻め込んでくるかわからないし、後ろからいきなり攻められてケガをすることもザラ。プロのスポーツ選手が90分間必死に戦っても0-0に終わることもある理不尽なスポーツです。手を使えないということがそれだけ大きなハンディなのです。

シュートしてもなかなか入らないしパスミスも当たり前。うまくいかないことの連続で、心がポキポキ折れる。そういうときに「傾聴」し、「自助努力」することが必要となり、サッカー選手はリバウンドメンタリティー＝へこたれない心が鍛えられるのです。

「脳トレ」でブラジルに勝ったドイツ

チェアマンになって初めて観戦した前回ブラジルワールドカップで日本は予選敗退し、決勝ではドイツが開催国ブラジルから7点を奪ってコテンパにやっつけました。なぜドイツがあんなに強かったんだろうと徹底的に調査したところ、ドイツ代表は合宿地に飛び切り美人の数学教師を招いて導関数や地理の勉強をしていたのです。ワールド

カップの決勝に行くような選手はフィジカルに差はほとんどないので、あとは脳トレなんですね。

日本はコートジボワール戦で本田が先制点を上げましたが、相手チームにはドログマというカリスマ選手がいてスタジアムは異様な雰囲気でした。ザッケローニがベンチから何か叫んでいてもピッチでは聞こえない。自分たちでスタジアムを観察し、ラインを下げたほうがいいのかどうか判断し、決断したら瞬時に伝え、統率し、もう一回観察する。これを短時間で繰り返す能力が必要となるのです。

ドイツのドルトムントの練習では、カラーボールを用い、赤いボールが来たら真っ先に投げ、反対側から取るというように約束事を決める練習をしています。これも脳トレの世界ですね。

ブンデスリーガではベルギーのベンチャー企業が開発したフットパスという評価システムを導入しました。各クラブの選手育成システムを400項目のチェック項目で評価し、星ゼロから三ツ星まで採点し、その成績によってリーグがクラブにお金を出すというものです。チェック項目には、このクラブでは代表に何人上げたか、昇格するのに一人当たりいくら費やしたか、スタッフには将来のセカンドキャリアのためのキャリアカウンセラーやメンタルケアスペシャリストがいるか等の項目もあります。

実はJリーグでも40クラブを対象にやってみたのです。ドイツが平均80点ぐらいだったところ、日本は20点。ほぼ0点の項目もありました。90分の練習時間内で、明日の対戦相手に合わせて選手が自ら発案して練習メニューをつくるという項目でした。ワールドカップ本大会のスタジアムではベンチの指示は聞こえませんが、自分たちで考えて判断し、修正する力がなければ戦えません。ヨーロッパに追いつけ追い越せで取り組んでいます。

スタジアムに軍事用ミサイル追尾システム

現在、Jリーグの全スタジアムには、軍事用のミサイルの追尾システム技術を応用したテクノロ

ジーを導入しています。発車角度と軌道を衛星から解析する技術で、スウェーデンの自動車メーカーのサーブが採用しているものです。選手22人＋レフェリー＋ボールの動きをライブで解析し、選手がトータル何キロ走ったか、時速何キロで走っているかがハーフタイム中にわかるのです。この結果、前半、ボールを奪ってから次の動作に行くまで19.4秒かかっていたのが、後半17.9秒と約7.7%短縮させることが出来ました。

レアルマドリードとバルセロナの対戦試合とJリーグの試合を比較したところ、レアルの選手は秒速9メートルで走っている。Jリーガーは秒速8メートル。このコンマ1秒の差はとても大きいのです。もちろんサッカーはサイエンスだけではなく、アート＝ファンタジスタの要素も必要ですが、大事な試合に勝つために速く長く走るためにどうするか、裏付けとなる数字と意識付けも重要です。

子ども世代の国際経験

スウェーデンのイエテボリにある4万人収容のサッカースタジアムで、世界80カ国から1600人の子どもが集まって子どもサッカー大会が開かれました。Jリーグから選抜された14歳以下の子どもたちに、15歳以下280チーム参加の部門にエントリーさせ、決勝まで進み、ドイツに前半0-2で負けていたのを後半追いつき、PKで優勝しました。

優勝セレモニーが大変素晴らしくて、ワールドカップ本大会の優勝セレモニーや凱旋パレードとまったく同じなんですね。子どもの大会でも子ども扱いしない。大人と同じになるんです。将来に向けて育てるということが徹底しています。

メキシコのチーバスというチームは海外で100試合戦います。Jリーグでは日本代表になってから海外試合を経験しますが、それでは遅いんですね。子どもたちの国際試合をどんどんプロデュースしなければなりません。

クラブ経営に長けた人材を育て、 海外に派遣する

今、Jリーグの中に経営学校を造っています。チェアマン就任後、すべてのクラブを視察したところ、どのクラブにもハイパーなデジタルエンジニアがいないことがわかりました。ファイアウォール、Eコマース、SNS最新テクノロジーを熟知している人材がいない。そこでこれらをすべてJリーグで担当することにしました。リーグの役割としてクラブを管理するばかりでなくITシェアードサービスを始めたのです。これが経営の学校設立につながりました。現在生徒は42人。うち8人がアジアサッカー連盟で働いています。1年に5人、10年に50人輩出し、能力にもよりますがクラブオーナーになるような人材を育てていければと考えています。

育てた人材は国内に留めるだけでなく、各国のプロリーグに派遣し、連携を進めます。現在、10カ国のプロリーグとパートナー契約を結び、リーグ内で交流をはかっています。タイはプレミアリーグの放送権に100億円を払うほどのサッカー人気国。そこにJリーグのノウハウを提供しています。タイは農業国ですから、地元の農協と耕運機メーカーのヤンマーが連携して現地でサッカースクールを始めました。指導者はセレッソ大阪からコーチを派遣し、タレント発掘にも努めています。その結果、タイの農村ではヤンマーの知名度が向上し、タイのトップリーグでは日本人選手が40人も活躍し、Jリーグにもタイの選手がやってくるようになりました。

チャナティというタイの著名な選手が7月からコンサドーレ札幌に加入し、タイのメディアがこぞって付いてきて、タイでJリーグの試合が全国放送されるようになります。中田がイタリアのペルージャに行って、ペルージャという地名が一躍有名になったのと同じです。

J2の水戸は5年連続入場者数を伸ばしています。J1仕様のスタジアムがないため昇格できないのですが、ベトナムのメッシと呼ばれる選手を

獲得し、ベトナム航空がスポンサーについて直行便が飛ぶようになりました。サッカーにはこういった国際交流も可能です。

ネット配信契約でビッグスポンサー獲得

Jリーグは実は世界で注目されています。7月にはドイツ代表GKが加入予定で、世界100カ国にスポーツニュースを配信するDAZNが日本に10年間で2000億円の投資を決定しました。決定の理由を彼らは「日本人は世界でも類のないスポーツ好きの国民で、相撲やフィギュアは高視聴率だしオリンピックや日本代表の試合は真夜中でもライブで見る、スポーツ新聞という文化もある。世界でスポーツ好きの国民はどこかと問われれば即日本だ」といいます。

スカパーは衛星放送でJリーグ全試合を中継し、20万人が視聴しました。ネット配信を始めたら開幕2か月で加盟者が3倍に増えた。これにDAZNが加われば、あらゆるスポーツが見放題になります。

現在、Jリーグではスタジアムのデジタル化を進めています。観客全員がWiFiにアクセスしても速度が落ちないように高容量のフルWiFiにします。こうすることでスタジアムがいざというときの防災拠点にもなります。東日本大震災のときは避難所での女子トイレ不足が問題になりましたが、Jリーグのスタジアムは4万人が不自由なくトイレを利用できるよう設計されています。そういう意味でもスタジアムは災害に強い施設であり、大宮と仙台でリニューアルが済んでいます。

財政面でも大きく変わりました。Jリーグの収入はスポンサー収入と放送権で90年代から変わっていませんでしたが、DAZNとの契約でドンと跳ね上がりました。伸びしろはまだありますね。

大声で故郷の名前を連呼できるスポーツ

Jリーグでは百年構想というのを実践しています。地域では町や学校でキャリア教育としてサッ

カー教室やブラインドサッカー体験などを実践しています。京都サンガは身寄りのない子どもたちとスポーツを楽しむ取り組みを行い、山形は地域振興の一環で田植え体験を行っています。田植えというのは脊柱起立筋のトレーニングにもなる。バランスを鍛える上でも役立ちます。松本ではチームの医療スタッフが地元で健康体操の指導を行っています。

川崎では選手がキャラクターになった算数ドリルを作って全小中学校に配りました。2020年までに東京中の学校にアスリートドリルを普及させる予定です。

鹿島はスタジアムの隣に病院を作ってしまった。人口10万人あたりの医者数が日本で一番少ない医療過疎の都市という地域課題の解決に貢献すべく、一日100人の患者を受け入れています。

日本の行政が抱える課題のうち「健康長寿」「教育」「道徳」—これらにはすべてのクラブが結束すれば何かできるかもしれません。国際化の時代、グローバル人材を育て、町を活性化させ、にぎわいを創出し、日本全体を活性化させるスポーツツーリズムのようなものも可能でしょう。何よりサッカーは大声で故郷の名前を連呼できるスポーツなのです。

＜講師プロフィール＞

村井 満 (むらいみつる) 氏

1959年(昭和34年)8月2日生まれ。埼玉県川越市出身。83年早稲田大学法学部卒業後、同年4月(株)日本リクルートセンター(現(株)リクルートホールディングス)入社。様々な人材紹介事業を展開。サッカー界とのつながりはリクルートエージェント在籍時にプロサッカー選手のセカンドキャリア支援を担当したのがきっかけ。2008年Jリーグ理事に選任。14年1月、ビジネス界出身者として初めてJリーグチェアマンに就任。Jリーグの人気回復とビジネスとしての基盤強化を中心とした改革に臨む。16年に2期目を迎え現在に至る。(公財)日本サッカー協会副会長、(公財)日本プロスポーツ協会理事。

幹事・運営委員と県東部選出県議団・市長町長連絡会議との合同会議 2017年3月27日開催

2017年度活動方針承認 地域創生につながる新産業創出を支援



2017年度の活動方針案を審議するサンフロント21懇話会幹事・運営委員と県東部選出県議団・市長町長連絡会議が開催された。活動方針を実現するため、年単位のテーマとして次の7項目を設定した。

- ▽東京五輪パラリンピックの開催を契機とするスポーツ産業の推進を支援
- ▽ファルマバレー、アグリイノベーション・リサーチセンター構想の推進
- ▽セルロースナノファイバー（CNF）実用化へ認知度向上を支援
- ▽動物愛護と福祉思想の国際レベルの啓発活動を支援
- ▽伊豆の日本遺産申請の支援など新たな観光の確立と提案
- ▽世界遺産観光の新たな展開を提案
- ▽静岡県ほたるサミット2017沼津市大会開催を支援

議事終了後は共同通信社編集局外信部長の沢井俊光氏が「トランプ政権と世界、日本」と題した講演を行った。

主催者あいさつ



静岡新聞社代表取締役専務

北村敏廣

皆さまこんにちは。本日は年度末の慌ただしい中、サンフロント21懇話会合同会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

当懇話会の2017年度の活動方針は、今年度2016年度と同様、これまでの活動を踏まえ、中長期的な視点で取り組むべき活動方針と、その活動方針を実現するため、年単位で取り組む活動を設定させていただきました。

来年度につきましては2020年東京五輪パラリンピックの開催を契機にスポーツ産業の推進など地域創生につながる新産業創出支援、伊豆の日本遺産申請の支援など新たな観光の確立と提案などをさせていただきます。

本日、議事終了後には共同通信社外信部長の沢井俊光様の講演がございます。沢井様は2004年から2007年までワシントン支局にて米大統領選、イラク戦争などを担当されました。つい先ごろは共同通信社編「入門トランプ政権」の編集もされております。日本はもちろん世界情勢に大きな影響を及ぼしているトランプ政権や、右傾化や波乱が懸念される欧州各国の選挙情勢、またその結果を受けた世界情勢の見通しなどをお話しいただけるとと思います。どうぞ期待ください。

懇話会は今後も県東部の都市づくり、地域づくり、自立促進に必要な提案提言を積極的にしてまいります。地方創生には皆様の一層のご支援ご協力がどうしても必要です。そのお願いをいたしまして、主催者を代表しての挨拶とさせていただきます。

市長町長連絡会議代表あいさつ

市長町長連絡会議の会長としてひとことご挨拶をさせていただきます。

サンフロント21懇話会の活動は23年目を迎えられました。20年を越える長期間、懇話会が東部地域活性化策に取り組んでこられ、キラメッセ沼津のように具体的な形となって表れたご提案もでございます。市長に就任して間もない私が申し上げるのも恐縮ですが、サンフロント21懇話会の活動を拝見させていただくと、広域での連携を検討する重要性や必要性を再認識しているところであります。本懇話会にはこうした地域に根差した地道な取り組みやご提言に期待するものでございます。

昨年はアスルクラロ沼津のJ3昇格といった明るい話題もありました。2020年の東京オリンピックパラリンピックに向けて東部伊豆地域への支援も期待されます。またアグリノベーションリサーチセンター構想の推進では研究開発拠点が今年沼津に開設する予定になっております。産学官民一体となって沼津東部から健康長寿日本一を支える食のブランド化支援を推進していくというサンフロント21懇話会の活動にますます期待しますとともに、行政としても連携しながら県東部の活性化にまい進したいと思っております。

最後にお集まりの皆さまのご健勝をお祈り申し上げ、簡単ではございますが私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



沼津市長

大沼明穂

講演

トランプ政権と世界、日本

講師：共同通信社編集局外信部長

沢井俊光氏



トランプが信奉する第7代大統領

今日はトランプ政権が発足して2カ月が過ぎた現時点で、これまでの評価、今後の展望について、また世界や日本に与える影響についてお話ししようと思います。

トランプ大統領を選挙戦中からずっとサポートしてきた共和党の下院議長が、トランプのことを「破壊力」「男らしさ」「サービス精神」を兼ね備えた人物だと評価しています。この中でも際立っているのが「破壊力」だと思います。

「破壊力」でよく名前が挙がるのが第7代アンドリュー・ジャクソン大統領です。今、アメリカの20ドル札の肖像に使われている人ですね。トランプはホワイトハウスの執務室の壁にこの人の肖像画を掛けています。ちなみにオバマは自由の女神の画を掛けていました。

アンドリュー・ジャクソンは1827年、当時の大統領ジョン・クインシー・アダムスを破って第7代大統領に就任しました。クインシー・アダムスは2代目大統領ジョン・アダムスの息子です。合衆国大統領は初代ワシントンから第6代まで当時のエスタブリッシューいわゆる貴族階級・支配階級を占めており、アンドリュー・ジャクソンは初めての庶民派大統領とされています。彼は農民の子で独立戦争に参加し、州議員等を務めた後、大統領選に立候補し、エスタブリッシュ出身の大統領を破って当選した。去年の大統領選挙と構図が似ているというわけです。

庶民の力で当選したわけですから、彼は当選後、ホワイトハウスを開放し、どんちゃん騒ぎをした。それまでの大統領就任式は貴族階級が集まる舞踏会のような集まりでしたが、支持者を集めて一晩

中どんちゃん騒ぎをして貴重な調度品が壊された等のエピソードも残るくらいでした。在職中は当時のアメリカの中央銀行に匹敵する銀行をなくしたり、それ以前は日本と同様、政権が交代しても官僚は固定されていたのを今のように政権交替時に官僚も交替させるなど思い切った改革をし、「ジャクソニアン・デモクラシー」といわれた一時代を切り拓きました。トランプ大統領はこの人を非常に信奉し、ジャクソン生誕250年記念の日には出身地テネシー州ナッシュビルまで飛んで生誕を祝うセレモニーに参加し、お墓参りをしています。

アメリカの分断を象徴する「支持率」

トランプは「短期間でこれほどのことを成し遂げた大統領はいない」と自画自賛していますが、ワシントンポストが就任50日でまとめた記事によると、50日間でトランプのツイッター発信を分析したところ、虚偽や誤解を招く情報を219回発信していたそうです。50日間でニセ情報をまき散らさなかったのは1日だけ。相変わらず暴言虚言は止まらないということです。

彼が選挙戦中、大統領になったら150日以内に実行すると言っていた公約が60項目あります。このうち実現したのは6項目。半分以上は手付かず状態です。実現6項目は何かといえば、日本にも大いに関係のあるTPPからの離脱。実際就任初日に離脱表明しましたね。それ以外は手付かずあるいは放棄したものもあります。放棄したものの中にはオバマケアの代替案もある。成果というものはトランプ本人が言うほど上がっていないと思われまます。

「トランプが大統領になったらどうなっちゃうんだ」という声を選挙中よく聞きましたが、「あ

まり心配するな、アメリカの民主主義は三権分立が徹底しており、大統領が好き勝手にはできない」と言う声もありました。確かにそのような状況になっており、たとえば大統領令で入国制限したものの裁判所の差し止め命令によって実現していない。オバマケアの見直し案も議会がストップさせた。成熟した先進国の民主主義はこういうシステムがしっかり出来ているわけです。宮澤喜一元首相がよく「山手線が動いていれば運転手は誰でもいい」ということをおっしゃっていました。運転手＝大統領が暴走しようとしても暴走できないシステムが根付いていればよいということです。

では実際の支持率はどうでしょうか。アメリカは、大統領就任100日間はハネムーン期間としてメディアも野党も批判を控え、お手並み拝見というのが慣例です。調査会社ギャラップのデータによると、1月21日（就任直後）から8日後の数字を見ると、早くも不支持率が50%を超えています。歴代の大統領で、不支持率50%を超えたのが就任何日目かを見ると、レーガンは727日目、ブッシュは1336日、クリントン573日、ブッシュジュニアは1205日、オバマ936日と、いずれも1年以上経った時点です。ところがトランプは就任8日目にして超えている。戦後初めてのケースです。

就任2カ月目の支持率はどうかというと、オバマ63%、ブッシュジュニア53%、クリントン52%、レーガン60%でしたが、現在トランプは41%。今日、会場入りする前に最新の数字をチェックしたら40%を切っていました。ブッシュもクリントンもこの中では低い方ですがそれでも50%は超えていた。トランプの数字がいかに低いかがわかると思います。

オバマの就任1カ月後の平均支持率は61%ありました。トランプは1カ月のうちに40%切っていますから、平均支持率でも20ポイント差があります。とくに顕著なのは民主党支持率。共和党支持者の支持率は87%ありますが、民主党支持者の支持率はわずか8%。ブッシュジュニアも同じように、大統領選では一般投票数でゴアに負け、選挙民獲得数でようやく勝利した大統領でしたが、彼はそれでも就任1カ月の時点で民主党支持者からの支持が31%ありました。それに比べるとトランプの8%というのがいかに低いか、それだけアメリカの分断というのが深刻だと言えるでしょう。

政権内のまとも派vsキワモノ派

トランプ政権の特色は、政権の中にまともな人とキワモノの2つのグループが混在しているということです。トランプが打ち出している政策にしても、まともな政策と極端な政策の2つに分かれています。

まともなグループ3人衆とはマティス国防長官、ティラーソン国務長官、プリーバス大統領首席補佐官です。マティスはトランプが選挙中、日米同盟や欧州同盟を軽視する発言をしていたところ、真っ先に日本にやってくる心配するなど言いました。ティラーソンは石油大手エクソンモービル出身で、トランプが台湾総統と電話会談をし、一つの中国に縛られないと2回も公の場で発言していたところ、ティラーソンの助言によって米中首脳電話会談を実現させました。彼もまともな思考の持ち主だといえます。

キワモノグループの2人はバノンとコンウェー。バノンはグレートマニユグレーター（偉大な操り人形師）といわれる人物で選挙戦終盤に選挙対策本部の責任者を務め、トランプを大統領にした立役者です。コンウェーも選挙対策本部長の肩書をもって選挙対策で功を成し、論功行賞的にホワイトハウスに引き上げられた。テレビでイヴァンカのブランドを使ってと発言して物議をかました人ですね。

クシュナーは上級顧問という肩書で、イヴァンカもホワイトハウスでトランプの近くにいる、まともグループとキワモノグループの間に立ってバランサー役を務めています。

トランプが某国首脳と電話会談をしているときの大統領執務室の写真を見ると、スパイサー大統領報道官、国家安全保障問題担当補佐官フリン、ペンス副大統領、プリーバス補佐官、バノンが映っていますが、バノンだけノーネクタイです。ホワイトハウスにはドレスコードがあり、男性はネクタイスーツです。ところがバノンだけはノーネクタイが認められている。ニュース映像を思い出していただきたいのですが安倍さんとトランプがフロリダの別荘で食事したとき、トランプはスーツネクタイでした。ああいう夕食会は、オバマなんかは完全にノーネクタイで袖をまくり上げ、フランクな格好でやるんですが、トランプという男は必ずスーツネクタイです。ホワイトハウスの中で

もそういうルールがあるのですが、バノンだけは特別扱いです。

バノンとトランプの関係

バノンのもう一つの特徴は、彼はただの選挙参謀だったにもかかわらずNSC（国家安全保障会議）の常任メンバーに入っているということです。選挙参謀が、会議そのものが最高意思決定機関である国家安全保障会議の常任メンバーになるというのは前代未聞です。私は2004年から07年までワシントンにいて、当時ブッシュジュニアの時代でしたが、カール・ローグという有名な選挙参謀がいました。小泉首相の飯島秘書官が「俺は日本のカール・ローグだ」等と言っていたことがありましたが、そのカール・ローグでさえ安全保障にはまったく関与していませんでした。アメリカの場合、安全保障問題は戦争に直結しており、兵士の生死に左右されるような問題を、選挙に有利になるから云々で決められたらたまらないという認識があり、選挙参謀は安全保障に関知しないというのが常識だったのです。それをトランプは許した。

なおかつバノンが入ってから、安全保障会議の記録というものが出されなくなった。NSCはスタッフが討議の経緯と最終合意と大統領への勧告を、必ず文書にして残すというのが習わしです。なぜかといえば、改めて政策を見直したり議論が必要になった時、前回どういう議論が行われたか経緯を知るためペーパーにして残すのですが、バノンが入ってから抄録がまったく作成されていないということをメディアが明らかにしました。NSCの議論がブラックボックス化しているという不透明化されています。

バノンの経歴を紹介すると、父は電線工事の職人で、バノン本人は優秀でハーバードビジネススクールに進み、海軍に入り、その後ゴールドマンサックスに入社。M&A部門に配属されました。超エリートが配属される部署だそうです。なぜ過激な言動をするようになったかと言えば、リーマンショックが原因で父が大損をこいて非常に困窮した。当時彼はゴールドマンサックスを退社していましたが、元の同僚たちは何の責任も取らず政府に救済され、のうのうとしていた。リーマンショックによって最も打撃を受けたのが父のような中産階級だというのが彼の怒りの源泉にあるよう

です。

また、彼の娘は海軍士官学校に進んでイラクに派遣されたようですが、娘の同僚の上流階級出身者は決して危険な戦場にはいかない。彼はグローバル化ということに対して猜疑心を持っていて、グローバル化がアメリカの労働者階級を破たんさせ、アジアに中産階級を生み出した。肝心なのはアメリカ人が不利益を被らないことであり、それができたら共和党政権は50年持つと言っています。そしてアンドリュー・ジャクソンのポピュリズムのように、まったく新しい政権を作り、すべてアメリカの雇用主のために働くと。ときにはレーニンを自分になぞらえ、すべてを破壊し、今日のエスタブリッシュをぶっ壊すと言っています。こういう言動にトランプは強い影響を受けていると言えるのではないかと思います。

バノンのインタビューでさらに心配なのは、彼は5～10年のうちに南シナ海で戦争が起きると発言しています。どうしてかという、アメリカの歴史は80年サイクルで戦争を繰り返している。独立戦争の80年後に南北戦争があり、その80年後に第二次世界大戦があり、その後そろそろ80年になるということです。

タイム誌がホワイトハウスの部屋の間取りを紹介しています。大統領執務室との距離がよくわかる図です。執務室の右から順に秘書と言われる人たち、報道担当、その隣が副補佐官、フリン、その下側にペンス副大統領とブリーバス首席補佐官の部屋と続きます。本来なら首席補佐官はもっと近いところにいるべきですが、執務室左側の一番近いところにいるのはクシュナーで、その隣がバノンです。バノンとブリーバスの力関係はこれを見ると一目瞭然でしょう。

経済、通商、外交政策の担い手

経済政策をつかさどるのはコーン国家経済会議担当委員長とムニューシン財務長官。2人ともゴールドマンサックス出身者です。トランプは選挙戦期間中、ウォール街に対して非常に批判し、ヒラリークリントンはウォール街から1回の講演で何千万ももらっていると攻撃しましたが、蓋を開けてみると、経済関係の要職にはウォール街の主要な人たちを配置しています。なぜかといえば、そこにしか人材がないわけです。アメリカの経済政策はマーケットと連動していますから、マー

ケットのことを熟知している人でなければ務まらない。トランプ自身もニューヨークの不動産屋ですから、昔からウォール街の人たちをよく知っている。そういう人たちの登用するのは自然なことです。トランプが公約に掲げた大規模減税やインフラ投資をまとめるのはこの人たちということになります。

次に、日本とも深く関係のある通商政策担当者。国家通商会議委員長のナバロはカリフォルニア大学の教授で対中国強硬派。ロス商務長官は日本とのかわりも深く、ニューヨークのジャパンソサエティの会長を務めたことがあり、日本政府から勲章ももらっている人です。政権に入る前は投資会社を自分で立ち上げていましたが、もともとの専門は破産法や企業整理で、1990年代の日本の金融危機の際、関西の幸福銀行の破たん処理を手掛けたこともあります。トランプがカジノ経営で失敗したときも破産整理を手伝ったことがあるそうです。

外交安全保障政策では、もちろん先ほど紹介したマティスやティラーソンが中心になりますが、マクマスターは軍出身でフリン後任の国家安全保障問題担当の補佐官。右側のマクファーランド副補佐官はキッシンジャーの側近で、トランプはニクソン・キッシンジャーの薫陶を受けていて、彼女を迎えたのもキッシンジャー路線—バランス&パワーを追求するのではないかとされています。

トランプの外交政策の焦点をまとめてみますと、近々の問題は対北朝鮮。核実験の準備はほぼ整ったとかミサイルも何度も撃って、アメリカに届くICBMもやるんじゃないかと言われています。アメリカ政府は北朝鮮政策を見直している最中で、ティラーソンはハッキリと「これまでの20年の北朝鮮政策は失敗だった。戦略的忍耐という名のもとに何もしなかった。この政策は終わった」と断言し、すべてのオプションを排除しないということで、いわゆる先制攻撃を含めた政策見直しをやっています。これがまとまるのが今月末で、おそらく今、やっている見直しでは対話よりも圧力に重点を置いていると思われます。

では実際問題として北朝鮮に先制攻撃するかと、言えば、常識的に考えればありません。10年20年前ならともかく、今、北朝鮮のすべてのミサイルや核施設を一発で潰すのは無理です。であれば生き残ったミサイルがソウルや日本に飛んでくる。常識的には先制攻撃はありませんが、不安材料は

トランプです。マティスやティラーソンがまともな政策を出して、それに従ってくれればいいですが、たとえばキワモノグループの悪魔のささやきに耳を傾けるようなことがあれば非常に不安です。

対中国では米中首脳会談が実現します。安倍さんがトランプに招かれたフロリダの別荘が会場になると言われ、何を話すかはわかりませんが、基本的には大きな話になるでしょう。

対ロシアは、トランプになってロシアとは融和に動くと言われていましたが、フリン大統領補佐官が辞めたことで当面は膠着状態になりそうです。

対NATOは、5月25日の首脳会議に参加することになりました。副大統領もマティスもティラーソンも行っていますので、基本的には現状通り。NATO加盟国はGDP2%を防衛費として負担するというきまりがあり、アメリカ、イギリス他2~3カ国しか実施していません。ドイツもフランスも達成できていませんので、このことを強く言うでしょう。

IS問題はロシアと共闘し、特殊部隊をイラクに増派しています。その成果が出ているかどうかわかりませんが、モスル等の主要都市がほぼ陥落しそうで、年内には制圧できると思われます。

中東政策はパレスチナ和平に強い意欲を示しています。基本的にはイスラエルとパレスチナの二国間共存路線を維持していくと思われますが、中東は魑魅魍魎といますか、非常に複雑怪奇なところで、ラビンというアラファトと一緒にノーベル賞をもらった人物は当時、対イスラエル右派と言われ、この人の下で和平が実現するとは到底思えないとされていましたが、実際にはこの人の代で実現しました。こういう歴史的な和平合意とは、とてもこの人の下では出来ないとされる人がリーダーの時に成立するケースもあり、もしかしたらトランプの時代に和平の可能性も有りかなと思っています。

対日政策では、安倍さんとの首脳会談は大成功だと外務省は自画自賛していますが、基本的にはトランプ側からの要求はほとんどありませんでした。本番はこれからで、4月中旬、ペンス副大統領が来日し、日米経済対話が本格的にスタートします。日本側からは高速道路や高速鉄道等のインフラ投資で協力し、アメリカ側は自動車や農業分野での市場開放を要求してくる。究極的には日米FTA。これをどうかわしていくかが日本側の戦略です。安全保障問題では防衛費の増額を日本に

も要求してくるでしょう。自衛隊の役割拡大も当然言ってくる。トランプ本人の来日は秋にAPECに参加するなら日本に立ち寄る可能性もあるでしょう。

トランプ相場と弾劾の可能性

経済政策の焦点としては、オバマケアの代替案撤回の影響は非常に大きいと思います。アメリカにはいわゆる公的保険がなく、オバマ政権で国民皆保険に近づいた。それに伴い財政出動も増え、共和党は小さな政府志向ですのでそれに反対した。共和党は上院も下院も多数を握っていますしオバマケア代替案はすぐに通ると思われたのが潰された。なぜ潰されたかと言えば中途半端だったんですね。財政保守の立場からみれば歳出削減にはつながらず、リベラルな共和党議員からみればこれによって無保険者がある試算によると2400万人も増え、自分たちの票田から強い反発が出る。保守派からもリベラル派からも反対されたのです。トランプが言っている大規模減税や10年間で1兆ドルのインフラ投資も財政出動を伴うものから、オバマケア代替案だけでも明らかになったのに、そんなことができるのかという強い疑問が膨らんでいる。それにともない、トランプ相場も終わるのではないかとわれわれ始め、ニューヨーク株は最大の下げ幅を記録しました。日本経済や世界経済に対する新たな不安材料にもなっています。

政権運営の不安は、政権内のまとも派とキワモノ派のバランスが崩れるかどうかです。めやすはプリーバスとパノンの闘いです。あの2人は一応同格とされていますが、今の情勢からいえばパノンが勝ってプリーバスが追い出されるのではないかと懸念され、そうなった場合政権内のバランスが崩れ空中分解するのではないかといわれています。共和党の主流派は、今はトランプ政権を支える立場ですが、そうなった場合、離反し、さらに支持率が低下します。トランプの弱点としてクレムリンゲート、トランプ自身の利益相反問題があり、議会の弾劾を受けて辞任する可能性も指摘され始めています。

大統領の弾劾は、理由は何でもいいのです。下院では過半数で訴追され、上院の3分の2が賛成すれば弾劾成立します。そうはいつでも大統領の弾劾は過去ゼロです。最も弾劾に近かったのは19世紀にリンカーンが暗殺された後を継いだ副大統

領のアンドリュー・ジョンソンという人で、上院の賛成票が1票足りずに無罪放免となりました。

弾劾訴追されたのはクリントンで、モニカ・ルインスキー問題のときに議会の偽証罪に問われ、上院本会議まで行きましたが、余裕でセーフでした。弾劾されて上院本会議まで行ったらダメだとされ、自ら辞任したのがニクソンでした。

弾劾までいかなくとも事実上解任させる手続きもあります。合衆国憲法修正第25条第4項によると、副大統領および閣僚の過半数が「こいつはダメだ」と手紙で議会に知らせれば、副大統領がただちに臨時大統領になり、大統領が反論すれば権限回復できる。その4日以内に副大統領が再通告すれば、上下両院が21日以内に3分の2の多数で事実上の解任をして副大統領に続けさせることができます。今まで実施されたことはありませんが、たとえば大統領が危険思想を持って、このままでは核のボタンを押しかねないという状況になれば可能になります。

欧州選挙動向

時間が迫ってまいりましたので、簡単に、フランスとドイツの選挙についてご紹介します。フランスは第1回投票が4月23日、5月7日に決選投票が行われます。もしルペンが当選したらEU離脱に現実味が生じ、EUは崩壊の恐れがあります。世論調査結果では中道左派系のマクロンがややリードしており、決選投票ではマクロン優勢となっています。ただ去年のアメリカも今ごろこういう数字だったのが結果あであったので、最後までわかりません。

ドイツはメルケルの続投か否かが焦点です。今のドイツは大連立政権でメルケルは中道派ですが、連立を組む社会民主党のシュルツ党首が人気で、この人が首相になる可能性もあります。反難民の「ドイツのための選択肢」は支持率10%前後で、第3党に躍進するも政権には届かない見通しといわれています。

最後までご清聴ありがとうございました。

＜講師プロフィール＞

1962年三重県生まれ。一橋大学卒業後共同通信社入社。神戸、横浜、川崎支局を経て、95年ナイロビ支局、99年バンコク支局、2004年ワシントン支局。12年科学部原子力報道室担当部長として東京電力福島原発事故を担当。15年11月現職。

■新たに入会された方

◇明治安田生命保険相互会社沼津支社	支社長	加部 慎也
◇(株)吉野エージェンシー	代表取締役	吉野 聖一
◇静岡県賀茂振興局	参事兼地域振興課長	和田 誉雄
◇東海プラント(株)	執行役員	下田 城二
◇静岡放送	常務取締役	榛葉 英二

■会員の変更

◇(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長	常峰 啓史	
	→常務執行役員東部カンパニー長	福島 豊	
◇(株)安心堂沼津店	店長	森 正憲	→ 店長 田中 博文
◇伊豆箱根鉄道(株)	代表取締役社長	中村 仁	→ 代表取締役社長 伍堂 文康
◇(株)伊豆フェルメンテ	代表取締役社長	宇田川 茂	→ 代表取締役社長 桐部 都宏
◇S M B C日興証券(株)沼津支店	支店長	浅見 律子	→ 支店長 澄田 達也
◇(株)S B S情報システム	代表取締役社長	望月 由郎	→ 代表取締役社長 渡邊 治彦
◇M O Aインターナショナル	広報担当	兵藤 真一	→(株)エム・オー・エー商事 取締役 土江 誠
◇大岡建設工業(株)	代表取締役	内野 徹太	→ 代表取締役 内野 聡
◇(株)静岡博報堂	代表取締役社長	神谷 義之	→ 代表取締役社長 林田 尚翁
◇スルガ銀行(株)	執行役員本店長	高山 英雄	→ 執行役員本店長 鈴木 富朗
◇(株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店	店長	小山 真人	→ 店長 白井 満
◇東海自動車(株)	代表取締役社長	石井 文弥	→ 代表取締役社長 早川 弘之
◇南駿農業協同組合	代表理事組合長	鈴木 道也	→ 代表理事組合長 岡田 晃一
◇(株)野村商店	代表取締役会長	野村 玲三	→ 代表取締役社長 野村 勝也
◇富士通(株)沼津工場	工場長	阿部 欣成	→ 工場長 大西 真吾
◇常葉大学富士キャンパス	学長	西頭 徳三	→ 学長 江藤 秀一
◇(株)富陽軒	代表取締役	石井 大介	→ 専務取締役 石井 太郎
◇三島信用金庫	理事長	稲田 精治	→ 理事長 平井 敏雄
◇(株)山中兵右衛門商店	代表取締役	山中 利之	→ 代表取締役 山中 啓壽

◇静岡県熱海財務事務所					
所長	後藤 睦	→	所長	佐藤 裕靖	
◇伊東市					
市長	佃 弘巳	→	市長	小野 達也	
◇静岡県賀茂健康福祉センター					
所長	高橋 安雄	→	所長	大村 新治	
◇静岡県賀茂振興局					
局長	杉本 隆一	→	局長	北村 誠	
◇静岡県賀茂農林事務所					
所長	白鳥 隆司	→	所長	三輪 照光	
◇静岡県観光交流局	伊豆観光局長 望月 宏明				
	→静岡県文化・観光部観光交流局 伊豆観光局長			神山 正之	
◇国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所					
所長	梅村幸一郎	→	事務所長	藤井 和久	
◇静岡県下田財務事務所					
所長	北村 誠	→	所長	中島 敏雄	
◇静岡県下田土木事務所					
所長	芹澤 郁雄	→	所長	原 広司	
◇静岡県東部危機管理局					
局長	石川 昌孝	→	局長	菫澤 敬	
◇静岡県東部健康福祉センター					
所長	池谷 洋一	→	所長	北詰 秀樹	
◇静岡県東部農林事務所					
所長	岡 あつし	→	所長	黒柳 康江	
◇長泉町					
町長	遠藤日出夫	→	町長	池田 修	
◇西伊豆町					
町長	藤井 武彦	→	町長	星野 浄晋	
◇静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センター					
センター長	加藤 公彦	→	センター長	塚本 忠士	
◇沼津市立病院					
病院長	後藤 信昭	→	病院長	卜部 憲和	
◇静岡県富士土木事務所					
所長	安達 行彦	→	所長	大石 俊一	
◇南伊豆町					
町長	梅本 和熙	→	町長	岡部 克仁	
◇静岡県東部地域政策局					
	次長 三沢 泰				
	→静岡県東部支援局 次長			市川 顯	
◇伊東市県議会議員					
	小野 達也	→		中田 次城	
◇富士市県議会議員					
	遠藤 榮	→		伴 卓	

■肩書の変更

◇静岡新聞社	北村 敏廣	代表取締役専務	→	顧問
◇静岡新聞社	知久 昌樹	営業局長	→	取締役営業局長
◇静岡放送	伊藤 充宏	報道局長	→	取締役報道局長